

データ作成時のご注意

■作成サイズについて

○データは原寸サイズで作成してください。

■データ作成について

○文字はオフセットでカッティングしてください。

○文字はCMYK（ラシック・マゼンタ・イエロー・ブラック）で作成してください。

○RGBカラーモードはご使用しないでください。

○グラフィックデータを複数枚ある場合は見取りが変わつる場合がございます。

○データは~~手形~~で保存してください。

○底面は必ずつけてください。（底面とはタイトルの後に付く~~△~~の事です）

■塗り足しについて

○別紙面のデータを直接入力される際は、**仕上がりサイズより外側の青線まで必ずデザインを行ってください。**

○背景色が白以外の色で背景や被像で使用する場合は、**仕上がりサイズより外側の青線まで必ず塗り足しを行つた場合に限り青線まで塗り足しを少しがちの場合、白地が出る可能性があります。**

■色について注意点

○色の再現性は、印刷方法や媒体により異なります。

○パソコンのモニタと印刷機器の色がなるべくできませんのでご注意ください。

○印刷機の墨体色により同じ条件での印刷でも、色の表現が若干異なる場合があります。

■画像使用について

○原寸サイズで軽度度100dpi以上の画像をご使用ください。

○画像解像度100dpi以下の画像の入稿に関しては、画像の切れ等の保証はできません。

○データの軽度度は、Illustrator上で保存します。リンクでの配置で作成してください。

○データ（~~手形~~）が複数枚ある場合は全て~~手形~~でまとめて入稿ください。

○複数枚ある場合は、必ず各一枚ずつでご用意ください。

○PDFファイルは印刷時に変換する恐れがあります。（底面とはタイトルの後に付く~~△~~の事です）

○底面は必ずつけてください。（底面とはタイトルの後に付く~~△~~の事です）

○印画紙は必ずつけてください。（底面とはタイトルの後に付く~~△~~の事です）

○印画紙は必ずつけてください。（底面とはタイトルの後に付く~~△~~の事です）

○印画紙は必ずつけてください。（底面とはタイトルの後に付く~~△~~の事です）

■アウトライン化について

○Illustratorでの入稿の場合は、必ずアウトラインの作成をお願いします。

○フォントを全てアートオブジェクトとしてお書きください。

■特殊効果について

ドロップシャドウ

○透明効果、ドロップシャドウ、ほかしのご利用は入稿時に設定が変わる可能性があるためお勤めいたしません。もしご利用される場合は、必ず「アピラランスの分別」※を行い、面參に変更してください。

カットアート

○カットアートは必ずオブジェクトとしてお書きください。

○カットアートの範囲はできませんので十分に注意ください。

○ご利用されていることにより、データの一部柄や文字が消えるおそれがあります。

スマートアート

○バージョンによる連続した模様を適用している場合、バターンのサイズや模様の位置が変化して印刷されると危険がございます。

○ご利用される場合は、A4横幅に「分辨率・拡張処理」を行ないパスになった事をご確認ください。

入稿時の注意事項

■データ作成ソフトについて

○Macintosh Mac OS X 10.6.8までの

○Windows Adobe Illustrator (バージョンはCS6まで)

■データ入稿についてのおことわりとお願ひ

○ご入稿いただいたデータの内容や状況によっては再び二段階く複合もあります。

○データ作成不適合による再入稿に伴う納期が変更になる場合があります。ご了承ください。

○メールの添付以外の方法でデータを再入稿される際は、お手数ですが必ず連絡ください。

注意点

■ハイアスの位置が若干異なる可能性があります。
重要な書類や写真、イラストなどは中心に寄せてデザインしてください。
※仕上がりに若干の誤差があります。ご了承ください。

